

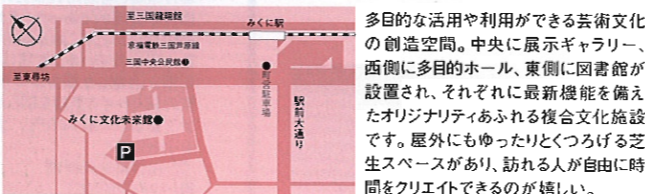
遊楽 彩祭

三谷市民文化振興財団ニュース



日本の真ん中、真ん中は海
海は真つ青、青いは空
空は広々、広いは大地
大地には緑、緑がたくさん
たくさんの味覚、味覚が香る
香るは文化、文化のふる里
ふる里はやさしい、
やさしい福井

みくに文化未来館



多目的な活用や利用ができる芸術文化の創造空間。中央に展示ギャラリー、西側に多目的ホール、東側に図書館が設置され、それぞれに最新機能を備えたオリジナリティあふれる複合文化施設です。屋外にもゆったりとくつろげる芝生スペースがあり、訪れる人が自由に時間をクリエイトするのが嬉しい。

〒913 福井県坂井郡三国町神明1丁目4番20号

〈お問い合わせ先〉(財)三国町文化振興事業団 TEL0776-82-7200

財団法人 三谷市民文化振興財団

〒910 福井県福井市豊島1-3-1 三谷ビル TEL0776-20-3188 FAX0776-25-3911

財団法人三谷市民文化振興財団は、ボランティア活動、スポーツ活動、市民文化活動の支援を目的として作られた財団です。毎年5月に助成団体を広く募集しています。この遊楽彩々(毎年10回発行)は、県内で活躍する人やグループ、各地で企画されているイベントを紹介し、ボランティア活動、スポーツ活動、市民活動のネットワーク化、活性化の促進を目的としています。

1996・12月発行

このニュースに関するお問い合わせは、TEL0776-21-0029(株)コミネットまで

三谷市民文化振興助成団体

様々な場面でイキイキと活動するグループを紹介します。



走ることが好きなメンバーが集う、九頭龍走友会。歴史街道を辿るマラソン大会等、自分達が主催する大会も数多くある。

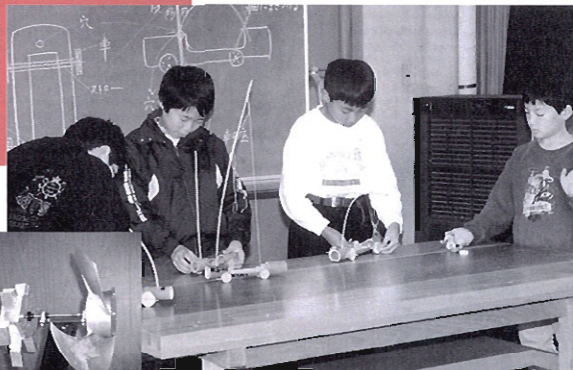
九頭龍走友会

(福井市)

九頭龍走友会は、約60名のメンバーにより、県内外の様々なマラソン大会、駅伝大会等に参加。元日の「ジョギング」から、6月に開催される京都府境「石川県境間の約15.6kmを走る「たすきりレー」に至るまで、参加するレースの内容も実に多種多様。時には、参加するだけでなく、主催者側として独自のマラソン大会を企画することもある。「走ることは幾つになっても楽しめる趣味の一つ。ここに集うメンバーは、走ることを通じて、楽しさや充実感を実感しているのですよ」と、語るのにはメンバーの一人、増谷さん。「完走した時の爽快感は何物にも代えられません。その素晴らしい充実感こそ、マラソンの最大の魅力なのです」。

多い人では年間を通して、約20以上の大会に出場しているとか。競技指向ではなく、健康志向をモットーに、メンバーは今日も走り続ける。

競技指向でなく、健康指向で走り続ける。



感性豊かな子供達が、一生懸命作品を創り上げています。

福井市少年少女発明クラブ

(福井市)

子供達の創造力を一つの形に。

福井市少年少女発明クラブは、東京発明協会本部からの「福井県にも発明クラブを」という要請を受け、平成4年に発足。以来、物を創るのが好きな子供達(小学4年生〜中学2年生)を中心に、毎月第1・3土曜日に活動を行っています。

「子供達の想像力はアイデアの宝庫。その素晴らしいアイデアに大人達がアレンジを加え、一つの物を創り上げていくのです」と、語るのには、指導にあたる山崎忠志さん。

日常生活、遊び、学習などを通して、「こんなモノがあったらいいな」と感じる子供たちの個性や感性を大切に育んでいくのです。

クラブでは年に一度、子供達が創った作品を発表するために「福井県発明工夫展」を開催しています。ちなみに'96年度のヒット作品は「すずめ発明器」ともぐら退治器。それらのユニークな発明品の数々は、見る人に新鮮な感動を与えています。

福井県知事賞を受賞した「すずめ発明器」ともぐら退治器。

CULTURAL PRESS

‘97千支「丁丑」展
12/19(木)～1/7(火)
エルフ福井(福井市西木田 商工会議所1F)
千支をテーマに「書の現代性」を親しみやすく表現し、展示する試みも今年で11回目を迎えます。今回は丑年に寄せて、高村光太郎の詩、「牛」を素材にします。書に内在する行為性、即興性と共に、前者の表現との調和と変化の中で言葉や音の記号化をご覧ください。無料。
12/29～1/3と毎週木曜は休館日。
(問)エルフ福井
■0776・33・0909

ふくいニューイヤーコンサート '97
1/5(日)
福井市文化会館(福井市春山)
今年で第3回目を迎える。ふくいニューイヤーコンサート実行委員会主催の定例コンサート。地元の春山混声合唱団をはじめ、西沢純子とエレガントストリング、ハーモニーあそびアンサンブル、福井室内管弦楽団、啓蒙子供太鼓等が出演。演目は美しく青きドナウ、幼き日の思い出のうた、時の踊り他…。料金一般2,000円、高校生500円、小・中学生無料。
PM2:00開演。
(問)福井市文化会館
■0776・20・5010



西町の綱引き
1/15(水)
敦賀市相生町
300年を超える伝統ある民族行事。えびす方(漁業関係者)と大黒方(農業関係者)に分かれて、今年度の豊漁、豊作を占うこの綱引きは、毎年、1000人以上の見物客で賑わいを見せている。国の重要無形民族文化財にも指定。
(問)敦賀市教育委員会 生涯学習課
■0770・22・8152



中村雅俊コンサート
1/22(水)
フェニックス・プラザ(福井市田原町)
中村雅俊と共に、素敵なひとときを過ごせるコンサート。心地良いサウンドと軽快なトークで、満足いくひとときを。入場料5,150円。PM7:00開演
(問)FOB金沢
■0762・32・2424

‘97水仙まつりインこしの
1/19(日)～1/26(日)
(イベントは19日、26日の両日のみ)
越前水仙の里公園(越前村居倉)
展示コーナーでは、世界の水仙や蟹爪水仙展、生け花展などが展示される他、おもしろ水仙栽培公開予定。また、水仙

や生け花、ドライフラワーの各種講演会等を楽しめる体験コーナーも設けられている。水仙プレゼントやあつあつのゆでがにが食られる等、素敵な特典を多数用意。これらの催し物と同時に、同会場でも物産展も行なわれる。
(問)越前村産土木課
■0776・89・2111

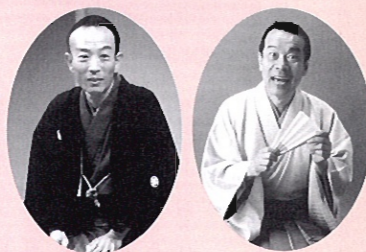


‘97越前大野市七間かまくら朝市と雪まつり
2/1(土)～2/2(日)
大野市七間通りに開催。雪上もちつき大会や雪上豆まきが行われる予定。他、鏡割、朝市茶屋、抽選会等あり。JR越前大野駅より徒歩5分。
(問)七間商店街振興組合
■0779・67・1301

雁ヶ原スノーフェスティバル
2/1(土)～2/2(日)
雁ヶ原スキー場(勝山市村岡町)
2/1は、オールナイトでスキーを楽しむことが可能。1日はタイムツ滑走(午後6:00より)、2日はスラローム大会等を予定。
(問)雁ヶ原スキー場
■0779・88・1616

スキー天国 in 今庄365 '97
2/3(月)～2/9(日)
今庄365スキー場(今庄町今庄)
例年同様、今年もまた、SAJトップデモンストレーターが多数集結1泊2日の合宿スタイルで、トップデモによる直接指導や、パーティー等を楽しめる。この他、たいまつ滑走や、雪上火火など、華やかに盛り上げられるイベントが盛り沢山。
(問)今庄町総務課
■0778・45・1111

‘97六呂師高原雪まつり
2/8(土)～2/9(日)
六呂師高原スキー場(大野市南六呂師)
ゲレンデ美人コンテスト、チビッコスラム大会、もちつき大会等を開催。前夜祭には雪中花火、雪上ディスコが行なわれる。ホテルの宿泊券やシーズン券が当たる。豪華抽選会有り。
(問)六呂師高原振興会
■0779・67・1201



初笑い寄席'97
「桂歌丸と林家木久蔵」 2/9(日)
ハートピア春江(春江町西太郎丸)
テレビ等でお馴染みの落語家、桂歌丸と林家木久蔵を迎えての初笑い寄席。チケット発売中!一般2,500円、高校生以下1,500円。PM3:00開演。
(問)ハートピア春江
■0776・51・8800



しんせつ池田・能楽の里冬まつり '97
2/9(日)
新保ファミリースキー場(予定)(池田町新保)
タレントショーをはじめ、大鍋のふるまい鍋等が楽しめる。他、スノーモービル試乗有り。開催時間AM10:00～。
(問)池田町振興開発課
■0778・44・6111(内線133)

‘97スノーフェスティバルinプラントピア
2月16(日)(予定)
朝日町立総合植物園「プラントピア」(朝日町朝日)
雪中室がしがや雪像づくり、雪中もちつき大会等を開催する予定。子供達に大人気の「ウルトラマンショー」や、一人で10種類以上の楽器を演奏する「作芸人麻心・サウンドマシーン」等も予定されているので楽しみに120型カラーテレビをはじめとする豪華景品が用意されている大抽選会にも注目。大鍋豚汁&ぜんざいを無料配布。AM10:00～PM3:00(予定)まで。
(問)朝日町総務課
■0778・34・1234

自然教室～化石が何を語るのか?～
2/8(土)、15(土)、22(土)
福井県立博物館(福井市大宮)
毎回違ったテーマを設け、午後2時から研修室にて勉強会を行う。2/8のテーマは「海の生物の化石から」、2/15のテーマは「コピ砂漠の化石調査から」、2/22のテーマは「勝山恐竜化石発掘から」。
(問)福井県立博物館
■0776・22・4675



勝山左義長
2/22(土)～2/23(日)
勝山市内各地(本町通り、後町通り他)
約300年の歴史を誇る勝山市の祭り。町内ごとに競って作られるその年の干支にちなんだ作品が、人々の目を惹きつけてくれる。さらに、街頭に立てられた風刺入りの絵灯籠や、軒下に飾られた押し絵等が、勝山市ならではの風物詩の一つとして祭りに景気を添える。「ドンド焼き」で神送りをし、五穀豊穡を祈願。夜空に美しく映える火が消えたと同時に、2日間わたる祭りの幕が閉じられていく。
(問)勝山市役所商工観光課
■0779・88・1111

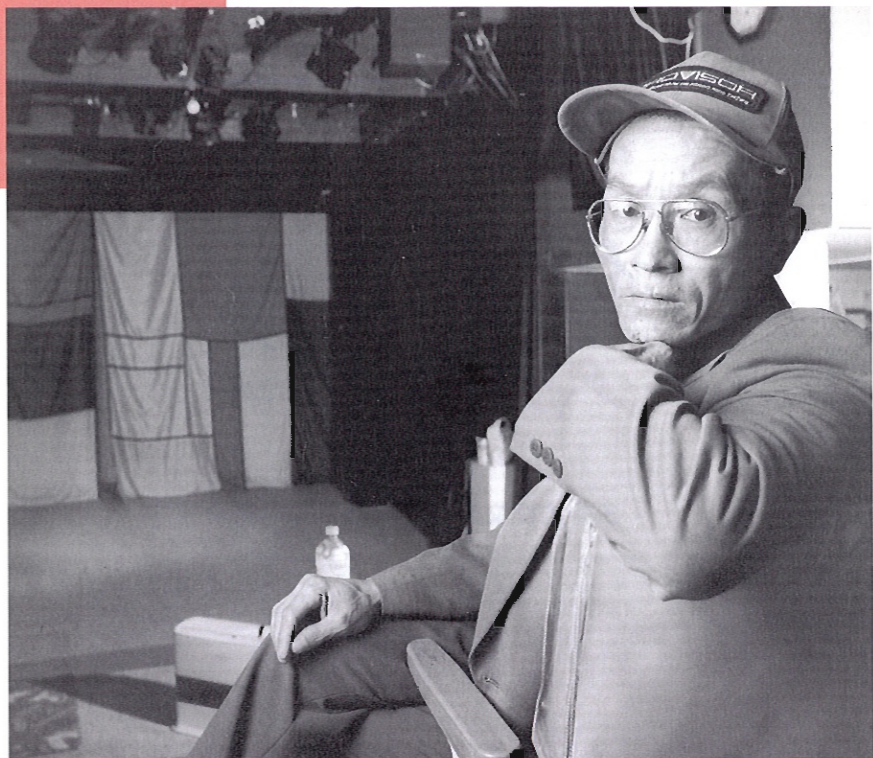


第2回よしもとお笑い いまだて道場
桂文珍独演会(予定) 3/8(土)(予定)
いまだて芸術館アートホール31(今立町栗田部)「よしもとお笑いいまだて道場」の事業企画として実施されている桂文珍独演会。自主企画の一つとして、年5回開催予定。TV等でお馴染みの桂文珍(他、タレント2名出演)を迎えて行なわれるこの公演会、爆笑の渦に巻き込まれること間違いナシ!料金は2,500円(予定) PM7:00開演。
(問)いまだて芸術館アートホール31
■0778・42・2700

講演会 恐竜時代の植物
3/9(日)
福井県立博物館(福井市大宮)
愛媛大学・金沢大学名誉教授、松尾秀邦氏を講師に招いての講演会。氏が、恐竜時代に咲いていた植物について語る。講堂にて、PM2:00から開演。料金無料、定員200名。
(問)福井県立博物館
■0776・22・4675

福井の明治美術
3/7(金)～3/30(日)
福井県立美術館(福井市文京)
福井県は、明治時代における近代化に極めて積極的であった。それは、明治初期のグソフニスに始まる美術教育に顕著に現われている。本展はこうした明治初期に活躍した福井県ゆかりの美術作家の知られざる業績を明らかにする展覧会である。一般700円、大高400円、中小200円。
(問)福井県立美術館
■0776・25・0451

第12回永平寺参道マラソン大会
3/16(日)(予定)
永平寺の旧参道
大本山永平寺の旧参道の残雪を眺めながら、修行僧の辿った険しい道を進むマラソン大会。この大会は、参加者達に開祖道元禅師の教え、「禅の道」を体験してもらうことを目的としている。参加料 一般2,000円。
(問)永平寺町教育委員会
■0776・63・4222



●プロフィール
1945年、福井県生まれ。アマチュア劇団「演劇団F」代表。10年前に「スタジオしろとんぼ」を設立。劇団の代表作は、4年前国民文化祭で発表した「岩魚の日記」等が挙げられる。来年は、お市の方の愛の物語を描いた作品を創作する予定。人間の本性をいかにして表現するかが今後の課題だと語る。



スタジオしろとんぼ。中山氏率いる演劇団F他、県内の数々のアマチュア劇団が芝居の公演や練習場としてこのスタジオを活用している。

福井に根差す人々の 涙にこもる喜びを表現したい

中山 三雄
MITSUO NAKAYAMA

「情熱を持ち続けられ、いつかきこつて夢はかないます。そう語るのには中山三雄さん、50歳。芝居の世界に魅せられて、34年。仕事の傍らアマチュア劇団員として活動を続けてきた、自他共に認める芝居人間だ。

中山さんの芝居にける情熱は並大抵なものではない。なにしろ演劇団Fの主筆者として独自の活動を展開するだけでなく、自力で自分達の稽古場「スタジオしろとんぼ」を運営しているのだ。

「たかが芝居に、なんでそこまで一生懸命になるんだって言う人もいます。でもアマチュアという立場に甘えていたら、いつまで経ってもその域を越えられませんか。」

中山さんが芝居に出会ったのは高校生の頃。一時は、プロの役者を目指し上京しようとしたが、家庭の事情で断念。しかし、役者になる夢は断ち切ることができず、同じ志を持つ仲間達とアマチュア劇団を結成することになる。

「たかが芝居に、なんでそこまで一生懸命になるんだって言う人もいます。でもアマチュアという立場に甘えていたら、いつまで経ってもその域を越えられませんか。」

中山さんの今後の作品テーマは「福井に根差す人々の涙にこもる喜びを表現すること」。地元を題材にした素朴な芝居で、どこまで観客を魅了していけるか。これは中山さんにとってこれからの課題であり、挑戦でもある。その前向きな姿勢と情熱は、これからは私達に、新鮮な感動を与え続けてくれるであろう。

「芝居の善し悪しを左右するのは、芝居の内容だけではないのです。照明や音響などの舞台装置などの舞台技術のウエイも実に大きい。芝居の練習は場所さえあればできますが、舞台装置となると、年に1度や2度の公演では、技術的な上達も難しいんですよ。」

そこで、悩んだ末、中山さんは、自分達の芝居小屋を建てることを決意した。

「芝居小屋を建てるということは、それはもう清水の舞台から飛び降りるようなものでした。でも、観客が芝居を見て感動する、その姿を見たいのために、私達は生懸命になるのです。」

中山さんの今後の作品テーマは「福井に根差す人々の涙にこもる喜びを表現すること」。地元を題材にした素朴な芝居で、どこまで観客を魅了していけるか。これは中山さんにとってこれからの課題であり、挑戦でもある。その前向きな姿勢と情熱は、これからは私達に、新鮮な感動を与え続けてくれるであろう。」